

第24期 第1回滋賀県スポーツ推進審議会

会 議 資 料

令和4年5月16日（月）

滋 賀 県



## 第 24 期 滋賀県スポーツ推進審議会委員名簿

※委員は五十音順（敬称略）

委員氏名	現職等	備考
おおた ちえこ 太田 千恵子	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 理事	
おおたに みお 大谷 未央	M I Oびわこ滋賀 アシスタントコーチ	
かえつ かずこ 嘉悦 和子	滋賀県スポーツ推進委員協議会 副会長	
かど く に ひろ 門 久仁裕	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 常務理事	
ごとう けいいち 後藤 敬一	滋賀ダイハツ販売株式会社 会長	
たかだ ひろゆき 高田 博之	公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局次長	
たけだ さとこ 武田 哲子	びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ学部 准教授	欠席
たなか ゆかり 田中 ゆかり	米原市立坂田小学校 教諭	欠席
ながい いずみ 永井 泉	滋賀県中学校体育連盟 会長	
ながはま あきこ 永浜 明子	立命館大学スポーツ健康科学部 准教授	Web出席
はしもと たかこ 橋本 孝子	N P O法人きのもとアイズ 理事	
ひびの としあき 日比野 敏陽	株式会社京都新聞社滋賀本社 編集部長	
やまおか あやか 山岡 彩加	公募委員（同志社大学ボート部ケアコーチ）	
よこやま かつひこ 横山 勝彦	同志社大学スポーツ健康科学部 教授	
わだ ひろゆき 和田 裕行	彦根市 市長	欠席

委員 15 名（出席 12 名）



# 第2期滋賀県スポーツ推進計画

## 概要版

— スポーツで滋賀を元気に！滋賀の未来を創る！ —



平成 30 年 3 月  
**滋 賀 県**

## 第 2 期滋賀県スポーツ推進計画とは

- 平成 25 年（2013 年）3月に策定した「滋賀県スポーツ推進計画」は、平成 29 年度（2017 年度）で計画の5か年が終了することから、国や本県におけるスポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、新たに「第2期滋賀県スポーツ推進計画」を策定しました。
- 本計画は、平成 27 年（2015 年）12 月に施行された「滋賀県スポーツ推進条例」第8条に基づき、スポーツの推進に関する統合的かつ計画的な計画です。
- 本計画の推進により、県民の心身の健康の保持増進を通じて健康寿命の延伸を図り、豊かで潤いのある県民生活の形成および活力ある地域社会の実現に寄与するための計画です。

### 目指す姿

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、滋賀県民であることに誇りを感じて、  
幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現  
— スポーツで滋賀を元気に！滋賀の未来を創る！ —

### 基本方針

- 1 スポーツの力で「豊かで健やかな生活」を創る！
- 2 スポーツの力で「元気な地域」を創る！
- 3 スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！

### 計画の期間

平成 30 年度（2018 年度）から 5 年間の計画です。

# スポーツ推進の具体的展開



# 1 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実

## 政策目標

年齢や性別、障害の有無を問わず、すべての県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しめるよう、スポーツ活動や学校体育の充実を目指します。

## 指標

	現状（H28）	目標（H34）
成人（男・女）の週1回以上のスポーツ実施率	男性 35.6% 女性 36.8%	男女ともに 65%以上
子ども（男・女）の1週間の運動・スポーツ実施時間（※土日を含み、平日の授業を除く） 【小学5年生】	男子：590.7分 女子：347.2分 （全国男子：602.9分） （全国女子：370.3分）	男子：625分 女子：382分 ※1日5分増を目標
障害者の週1回以上のスポーツ実施率	38.1% （H29）	65%以上



県民総スポーツの祭典  
上：ゲートボール  
右：ユニカール



## 展開方策

### （1）県民総スポーツの機会づくりの推進

- 「する」「みる」「支える」スポーツ普及に向けた機会づくりと普及促進
- スポーツボランティア活動の充実
- スポーツ情報提供の拡大

### （5）障害のある人の参加機会の拡大

- 地域における参加機会づくり
- 指導者の養成
- 障害者スポーツの啓発

### （2）幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の充実

- 幼児期の運動遊びの充実
- 体力向上に向けた検証改善
- 幼児期における運動の質・量の充実

### （6）女性の参加機会の拡大

- 仲間や親子で参加できる機会づくり
- 参加意識の向上
- 女性の指導者等、人材の養成

### （3）小・中学校における体育・保健体育の授業の充実

- 授業内容の充実
- 指導力の向上
- 外部指導者の参画
- 望ましい生活習慣の定着

### （7）中高年の運動習慣定着化の推進

- 日常生活にとけ込む運動の普及
- 気軽に取り込める運動プログラム等の開発
- 体験機会の提供

### （4）中学・高校における運動部活動の活性化

- 各学校の特色を活かした取組の推進
- 指導者の育成・確保
- 柔軟な運営体制の推進
- 安全体制の充実



小学校体育デジタル教材  
「げんきな湖っ子」DVDシリーズ



各小学校「健やかタイム」の時間



スペシャルスポーツカーニバル



## 2 スポーツの持つ多様な価値の共有

### 政策目標

スポーツから得られる勇気や社会の絆、さらには共生社会、健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化等につづくスポーツの持つ多様な価値の発信と共有を目指します。

### 指標

	現状（H28）	目標（H34）
しがスポーツ大使の就任数	26 者	50 者以上
アスリートを採用した県内企業数	32 社	45 社以上
スポーツボランティア登録者数 （本県ボランティア登録システム利用）	334 人	2,000 人以上



### 展開方策

#### （1）スポーツの持つ多様な価値の発信

- しがスポーツ大使による発信やスポーツイベント等におけるアスリートの活躍する姿の発信

#### （2）トップアスリートとの交流機会の創出

- 活躍するトップアスリートの広報
- スポーツを通じたアスリート支援による企業価値の向上

#### （3）スポーツイベント等におけるボランティア活動の応援・促進

- ボランティア活動ができる機会の提供
- 企業内でスポーツボランティアの取組が増えるための周知等

## 3 スポーツ施設・環境の充実

### 政策目標

県民が気軽にスポーツに親しむことができるよう「する」「みる」「支える（育てる）」スポーツ環境の充実を図ります。

### 指標

	現状（H28）	目標（H34）
総合型地域スポーツクラブで指導する有資格スポーツ指導者数	267 人	370 人以上
県内の公共スポーツ施設の利用者数	6,617,409 人 （H26）	730 万人以上



（仮称）彦根総合運動公園第1種陸上競技場建築基本設計パース図

### 展開方策

#### （1）地域スポーツクラブの育成

- 総合型地域スポーツクラブの育成
- 滋賀県広域スポーツセンターを中心とした支援の充実
- 地域づくり活動の推進

#### （2）スポーツ少年団の育成

- アクティブ・チャイルド・プログラム（AGP）の普及促進
- 指導者の資質の向上

#### （3）公共スポーツ施設等の活用・充実

- 学校体育施設等の効果的・効率的活用
- 県立スポーツ施設の充実・確保、安全性の確保

#### （4）琵琶湖などの自然を活かしたスポーツの推進

- 滋賀の豊かな自然環境を活用したスポーツの推進
- 琵琶湖を舞台とした湖上スポーツの推進

## 4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化

### 政策目標

大学、企業、地域、スポーツ団体等のさまざまな団体が、スポーツを通じて主体的に連携・協働することにより地域の活性化を目指します。

### 指標

	現状（H28）	目標（H34）
民間団体等の実施するスポーツイベントへの県の後援件数	155 件	200 件以上
スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数	1,002 万人	1,200 万人以上
滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	60,844 人 (2017シーズン)	10 万人以上



朝日レガッタ



びわ湖レイクサイドマラソン

### 展開方策

#### (1) 地域とスポーツ団体との連携・協働の推進

- 子どもの運動・スポーツ活動の推進
- 障害者スポーツ関係団体との連携、協働
- 健康づくり・交流機会の拡充

#### (2) 大学・企業等とのスポーツ団体との連携・協働の推進

- 指導者の育成
- 体力向上に向けた検証、改善サイクルの確立
- 競技力向上のための連携

#### (3) スポーツイベント、トップアスリート等を活かした地域の活性化

- 全国規模のスポーツイベントの開催による地域の活性化
- トップスポーツの地域での交流推進
- スポーツイベントを活用したスポーツツーリズムの検討

#### (4) スポーツの成長産業化

- 滋賀のPR活動と観光誘客に向けた発信
- 大学、企業と連携したビジネスモデルの検討
- スポーツを通じた海外との交流促進

## 5 国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大

### 政策目標

「選手の育成・強化」「指導体制の充実」「強化拠点の構築・環境整備」の取組を推進することにより、競技力の向上と競技者の拡大を図ります。

### 指標

	現状（H29）	目標（H34）
国体総合順位	39 位	8 位以内
県障害者スポーツ大会の参加者数	773 人	1,000 人以上

#### (2) 指導体制の充実

- 指導者の確保
- 指導者の養成・資質向上
- 組織的な競技力向上の推進

### 展開方策

#### (1) 選手の育成・強化

- ジュニア選手の発掘・育成・強化
- 成年選手の育成・強化・確保
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック候補選手の活動支援
- 女性アスリートの育成・強化
- 障害者スポーツの普及、選手の発掘・育成・強化

#### (3) 強化拠点の構築・環境の整備

- 強化拠点の構築
- 施設の整備・競技用具の充実
- 医科学サポート体制の充実



平成 29 年度 愛媛国体開会式



次世代アスリート発掘育成プロジェクト 滋賀レイキッズ



国体「陸上競技」



医科学コンディショニング講習会

## 6 地域の特性を活かした大会レガシーの創出

### 政策目標

国体・全国障害者スポーツ大会等の開催を契機として、地域の特性を活かした滋賀らしいレガシーの創出を目指します。

### 指標

	現状 (H28)	目標 (H34)
オリンピック・パラリンピックのホストタウンを通じて海外との交流を始めた市町数	3市	6市町以上 (H32)
スポーツボランティア登録者数 (本県ボランティア登録システム利用) ※再掲	334人	2,000人以上
成人(男・女)の週1回以上のスポーツ実施率 ※再掲	男性 35.6% 女性 36.8%	男女ともに 65%以上

### ホストタウン交流事業



ホッケースクール (米原市)



シヨールアートキッズ フェスティバル (守山市)

### 展開方策

#### (1) シンボルスポーツの創出

- 市町と連携したシンボルスポーツの創出

#### (2) 大会運営等のノウハウの継承

- 大会運営等のノウハウ継承による、県民が継続してスポーツに親しめるイベントの開催

#### (3) スポーツボランティア活動の取組

- ボランティア活動の場の提供、ボランティア制度の仕組みやボランティア体験の継承

# 施策の総合的かつ計画的な推進のために

## 第1 県民自らの参加の推進

県民一人ひとりが、健康で明るくいいきと生活するために、日常生活の中で「する」「みる」「支える」などさまざまな関わりにおいて、自ら進んでスポーツに親しむことができるようにします。

## 第2 多様な主体の連携・協働による推進

県、県民、市町、事業者、大学およびスポーツ団体等は、スポーツの推進を図るため、相互に連携を図りながら協働するように努め、スポーツ関係団体や関係者は、それぞれの役割を十分理解し、互いに連携・協働しながら、「スポーツで滋賀を元気にする」取組を推進します。

## 第3 本県の国体・全国障害者スポーツ大会に向けた着実な準備

ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021 関西と、3年連続のビッグスポーツイベントを平成36年(2024年)に本県で開催する国体・全国障害者スポーツ大会の成功につなげていけるよう、知見や成功体験を活かし着実な準備を行います。

## 第4 計画の進捗状況の検証

毎年度、スポーツ推進計画の取組の状況、評価、課題の把握に努め、その結果、変更が必要なものについては、成果指標や具体的施策を見直します。

# 第3期滋賀県スポーツ推進計画の策定スケジュール

資料3

	令和3年度（第23期スポーツ推進審議会）					令和4年度（第24期スポーツ推進審議会）											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フェーズ				骨子案							素案				最終案		策定
審議会	第5回 諮問 計画の方向性				第6回 目指す姿・ 現計画の展開方策 の実施状況		第1回 骨子案			第2回 素案				第3回 答申案	審議会→知事 答申		
県議会	諮問の概要 ・ <b>新型コロナウイルス感染症の感染拡大</b> により、スポーツを「する」「みる」「支える」全ての場面で制限を受けており、県民の誰もが安心してスポーツを楽しむことができるよう、施策を効果的に展開していくことが求められている。 ・ また、 <b>県民のスポーツ実施率の伸び悩み</b> や、 <b>少子化等による運動部活動の課題</b> など、本県を取り巻く様々な状況に対応していく必要がある。 ・ さらに、本県で開催される <b>国スポ・障スポ大会等</b> のレガシーを地域振興に結び付けていくことも重要である。 ・ 県の現行計画等を踏まえ、今後のスポーツ施策に係る基本的方針や諸方策について意見を求めたい。					5月常任 計画の 策定について		8月議会 骨子案		9月議会 素案・ 現計画の実施状況		11月議会 パブコメ結果		2月議会 原案			
その他の会議等																	
県民政策コメント																県民政策 コメント	



# 第3期滋賀県スポーツ推進計画の骨子案



- 計画の位置付け  
滋賀県スポーツ推進条例第8条に基づき、スポーツの推進に関する総合的かつ計画的な推進を図るために策定するもの。
- 計画期間  
令和5年度から令和9年度までの5年間

## 計画策定の背景

### 社会情勢の変化

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大
- 県民のスポーツ実施率の伸び悩み
- 運動部活動改革の議論
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の経験
- 国スポ・障スポ、ワールドマスターズゲームズの開催

### 滋賀県基本構想の目指す2030年の姿

- **誰もが生涯を通じ、様々なつながりの中で自分らしくからだも心も健やかな生活を送っている**
  - ・スポーツの習慣などによる健康的な日常生活
  - ・誰もが居場所や生きがいを持ち、スポーツ等に親しみながら心豊かに生活
- 滋賀ならではの観光資源等の魅力が発信されていることで、滋賀を訪れる人が増加し、**地域が活性化**している
- 多様な人々の違いを認め合い、**誰もがその人らしく活躍できる共生社会**が実現している

## (参考) 第2期計画の主な指標

指標	策定時	H30	R1	R2	R3	目標 (R4)
成人(男・女)の週1回以上のスポーツ実施率	男 35.6% 女 36.8% (H28)	39.7% 40.0%	45.6% 42.4%	50.1% 47.4%	55.2% 48.6%	65%以上 65%以上
県障害者スポーツ大会の参加者数	773人 (H29)	757人	708人	150人	562人	1,000人以上
スポーツボランティア登録者数(本県ボランティア登録システム利用)	334人 (H28)	1,789人	3,379人	3,629人	3,823人	2,000人以上
スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数(暦年)	1,002万人 (H28)	1,091万人	1,105万人	795万人	(未集計)	1,200万人以上
滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	60,844人 (H29)	95,753人	73,262人	35,211人	(未集計)	100,000人以上

## 第2期計画の取組状況・課題等

### 取組状況

- 県民体育大会や健康推進アプリ「BIWA-TEKU」を活用したウォーキングイベント、オンラインを活用した運動・スポーツ教室などを開催し、**県民のスポーツの機会を創出**
- 小・中学校での体育・保健体育の質的向上に向けた授業公開・研究協議や、休日部活動の地域移行に係る実践研究の実施など、**子どもの運動・スポーツ活動の充実**につながる取組
- 障害者スポーツに関するコーディネーターの派遣など、**障害者のスポーツ活動の充実**
- スポーツイベント等での活動機会の提供や研修会の実施等、**スポーツボランティア活動の充実**
- HP「しがスポーツナビ!」による多様な情報発信
- **総合型地域スポーツクラブ**に対する研修会の実施など、クラブの育成
- 国スポ・障スポの主会場や滋賀アリーナなど、**県立スポーツ施設の整備**
- 「ピワイチ」の環境整備など、**豊かな自然環境を活用したスポーツ**
- 次世代アスリート発掘育成事業「滋賀レイキッズ」の実施や、トップアスリートの県内就職を支援する職業紹介所「SHIGAアスリートナビ」の開設など、**選手の育成・強化**等を推進
- 東京オリパラの事前合宿の受入れなど、**ホストタウン相手国との交流**を推進

### 主な課題等

- コロナ感染拡大の影響による**スポーツ活動の停滞**
- コロナの経験を通じた**健康意識の高まり**、**オンラインを活用した新たな取組の進展**
- **スポーツ実施率の伸び悩み**(特に若者や働き盛りの世代、女性、障害者)
- **子どもの運動・スポーツ実施時間の減少**、**体力の低下**
- 少子化等の影響による一部の**運動部活動の維持困難**
- ✓ **総合型クラブなど身近なスポーツをする場の充実**
- ✓ **スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化**
- コロナ感染拡大の影響による**スポーツ等を目的とする観光入込客数の減少**、一方で**地域資源を活かした屋外スポーツへのニーズの高まり**
- ✓ **国スポ・障スポに向けた競技力向上と競技者の拡大、大会後の競技水準の定着**
- 東京オリパラによる**感動の共有**、**スポーツに対する関心の高まり**と**障害者スポーツへの理解の深まり**
- ✓ **大規模大会の開催による成果の未来への継承**

### 計画策定に向けた3つの視点

#### 1 人

- 誰もが自分に合ったスポーツを気軽に楽しめる環境をつくる
- 子どもが体を動かす楽しさを実感し、継続して取り組める環境をつくる
- 障害者がスポーツを気軽に楽しめる環境をつくる

#### 2 地域

- 多様なスポーツ関係者が連携・協働し、地域の活性化を図る
- 地域資源を活かしたスポーツを推進し、地域の活性化につなげる

#### 3 大規模大会

- 選手育成や指導体制充実等により、競技力の向上と競技者の拡大を図る
- 国スポ・障スポ後の競技水準の定着のため、取組を継続していく
- 大会の成果を生かして、滋賀らしいスポーツの在り方を創出し、未来へ継承する

## 骨子案

### 目指す姿

～ スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！～

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、感動を共有し、互いに連携・協働することを通じて、地域に誇りや愛着を持ち、健やかで豊かな生活を営むことができる共生社会の実現

### 基本方針

I  
「健やかで豊かな生活」をつくる  
【人】

II  
「活力のある地域」をつくる  
【地域】

III  
感動を未来へつなぐ  
【大規模大会】

### 施策/目標

- 生涯にわたるスポーツ活動の充実**  
年齢や性別、障害の有無を問わず、全ての県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」自分らしくスポーツを楽しめるよう、機会の創出・拡充や環境の整備を図る。
- 子どもの運動・スポーツ活動の充実**  
全ての子どもが大人になっても楽しめるスポーツに出会い、体を動かす楽しさを実感し、継続して取り組める環境をつくる。
- 障害者のスポーツ活動の充実**  
障害のある人が気軽にスポーツを楽しみ、継続して取り組める環境をつくる。
- スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化**  
県民や大学、企業、地域、スポーツ団体等の多様な個人・団体が、スポーツを通じて主体的に連携・協働することにより地域の活性化を目指す。
- 滋賀の地域資源を活かしたスポーツの推進**  
琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や観光資源を活かしたスポーツの振興を通じて、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。
- 国スポ・障スポ大会等に向けた競技力向上と競技水準の定着**  
「選手の育成・強化」「指導体制の充実」「強化拠点の構築・環境整備」の取組の推進による競技力の向上や、大会後の競技水準の定着を図る。
- 地域の特性を活かした大会レガシーの創出と未来への継承**  
国スポ・障スポ大会やワールドマスターズゲームズ関西等の開催を契機として、地域の特性を活かした滋賀らしいレガシーを創出し、未来へ継承する。

スポーツとの関わり・・・スポーツを「する」「みる」「支える」





第2期	第3期（案）
<p><b>目指す姿</b></p> <p>— スポーツで滋賀を元気に！滋賀の未来を創る！ —</p> <p>すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、滋賀県民であることに誇りを感じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現</p>	<p><b>目指す姿</b></p> <p>— スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！ —</p> <p>すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、感動を共有し、互いに連携・協働することを通じて、地域に誇りや愛着を持ち、健やかで豊かな生活を営むことができる共生社会の実現</p>
<p><b>基本方針Ⅰ スポーツの力で「豊かで健やかな生活」を創る！【人】</b></p> <p><b>政策1 生涯にわたるすべての県民のスポーツ活動の充実</b></p> <p>政策目標) 年齢や性別、障害の有無を問わず、すべての県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しめるよう、スポーツ活動や学校体育の充実を目指す。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民総スポーツの機会づくりの推進</li> <li>・幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の充実</li> <li>・小・中学校における体育・保健体育の授業の充実</li> <li>・中学・高校における運動部活動の活性化</li> <li>・障害のある人の参加機会の拡大</li> <li>・女性の参加機会の拡大</li> <li>・中高年の運動習慣定着化の推進</li> </ul> <p><b>政策2 スポーツの持つ多様な価値の共有</b></p> <p>政策目標) スポーツから得られる勇気や社会の絆、さらには共生社会、健康長寿社会の実現、経済・地域の活性化等に結びつくスポーツの持つ多様な価値の発信と共有を目指す。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの持つ多様な価値の発信</li> <li>・トップアスリートとの交流機会の創出</li> <li>・スポーツイベント等におけるボランティア活動の応援・促進</li> </ul>	<p><b>基本方針Ⅰ 「豊かで健やかな生活」をつくる【人】</b></p> <p><b>施策1 生涯にわたるスポーツ活動の充実</b></p> <p>施策目標) 年齢や性別、障害の有無を問わず、全ての県民が「いつでも、どこでも、いつまでも」自分らしくスポーツを楽しめるよう、機会の創出・拡充や環境の整備を図る。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民総スポーツの機会づくりの推進</li> <li>・女性や働き盛りの世代に対する参加促進</li> <li>・健康寿命延伸に向けた取組の推進</li> <li>・スポーツの持つ多様な価値の発信</li> <li>・トップアスリートとの交流機会の創出</li> <li>・スポーツイベント等におけるボランティア活動の応援・促進</li> <li>新) スポーツに関わる機会の創出</li> <li>・地域スポーツクラブの育成</li> <li>・公共スポーツ施設等の活用・充実</li> </ul> <p><b>新) 施策2 子どもの運動・スポーツ活動の充実</b></p> <p>施策目標) 全ての子どもが大人になっても楽しめるスポーツに出会い、体を動かす楽しさを実感し、継続して取り組める環境をつくる。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期からの運動(遊び)・スポーツ活動の機会の拡大</li> <li>・小中学校における体育・保健体育の授業改善</li> <li>・スポーツ少年団の育成</li> <li>新) 中高生の運動機会の充実</li> </ul> <p><b>新) 施策3 障害者のスポーツ活動の充実</b></p> <p>施策目標) 障害のある人が気軽にスポーツを楽しみ、継続して取り組める環境をつくる。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人の参加機会の拡大と定着</li> <li>新) 障害者スポーツの理解促進</li> </ul>
<p><b>基本方針Ⅱ スポーツの力で「元気な地域」を創る！【地域】</b></p> <p><b>政策3 スポーツ施設・環境の充実</b></p> <p>政策目標) 県民が気軽にスポーツに親しむことができるよう「する」「みる」「支える(育てる)」スポーツ環境の充実を図る。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツクラブの育成</li> <li>・スポーツ少年団の育成</li> <li>・公共スポーツ施設等の活用・充実</li> <li>・琵琶湖などの自然を活かしたスポーツの推進</li> </ul> <p><b>政策4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化</b></p> <p>政策目標) 大学、企業、地域、スポーツ団体等のさまざまな団体が、スポーツを通じて主体的に連携・協働することにより地域の活性化を目指す。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とスポーツ団体との連携・協働の推進</li> <li>・大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働の推進</li> <li>・スポーツイベント、トップアスリート等を活かした地域の活性化</li> <li>・スポーツの成長産業化</li> </ul>	<p><b>基本方針Ⅱ 「活力のある地域」をつくる【地域】</b></p> <p><b>施策4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化</b></p> <p>施策目標) 県民や大学、企業、地域、スポーツ団体等の多様な個人・団体が、スポーツを通じて主体的に連携・協働することにより地域の活性化を目指す。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とスポーツ団体との連携・協働の推進</li> <li>・大学・企業等とスポーツ団体との連携・協働の推進</li> </ul> <p><b>新) 施策5 滋賀の地域資源を生かしたスポーツの推進</b></p> <p>施策目標) 琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や観光資源を生かしたスポーツの振興を通じて、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につなげる。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツツーリズムの推進(湖上スポーツ、ビワイチ、新マラソン等の推進)</li> <li>新) 文化財等の観光資源を活用したスポーツの推進</li> <li>・スポーツイベントを生かした地域の活性化</li> </ul>
<p><b>基本方針Ⅲ スポーツの力で「感動の滋賀」を創る！【国体・全国障害者スポーツ大会等の開催】</b></p> <p><b>政策5 国体・全国障害者スポーツ大会等に向けた競技力向上と競技者の拡大</b></p> <p>政策目標) 「選手の育成・強化」「指導体制の充実」「強化拠点の構築・環境整備」の取組を推進することにより、競技力の向上と競技者の拡大を図る。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手の育成・強化</li> <li>・指導体制の充実</li> <li>・強化拠点の構築・環境の整備</li> </ul> <p><b>政策6 地域の特性を生かした大会レガシーの創出</b></p> <p>政策目標) 国体・全国障害者スポーツ大会等の開催を契機として、地域の特性を活かした滋賀らしいレガシーの創出を目指す。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルスポーツの創出</li> <li>・大会運営等のノウハウの継承</li> <li>・スポーツボランティア活動の取組</li> </ul>	<p><b>基本方針Ⅲ 感動を未来へつなぐ【大規模大会】</b></p> <p><b>施策6 国スポ・障スポ大会等に向けた競技力向上と競技水準の定着</b></p> <p>施策目標) 「選手の育成・強化」「指導体制の充実」「強化拠点の構築・環境整備」の取組の推進による競技力の向上や、大会後の競技水準の定着を図る。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手の育成・強化</li> <li>・指導体制の充実</li> <li>・強化拠点の構築・環境の整備</li> <li>新) 大会後の競技水準の定着</li> </ul> <p><b>施策7 地域の特性を生かした大会レガシーの創出と未来への継承</b></p> <p>施策目標) 国スポ・障スポ大会やワールドマスターズゲームズ関西等の開催を契機として、地域の特性を生かした滋賀らしいレガシーを創出し、未来へ継承する。</p> <p>(展開方策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンボルスポーツの創出・継承</li> <li>・大会運営等のノウハウの継承</li> <li>・スポーツボランティア活動の継承</li> <li>新) 大規模大会を生かした障害者スポーツの理解促進</li> </ul>



## 資料6

## 第2期滋賀県スポーツ推進計画における指標および目標値・実績値

第3期計画では指標から除外予定

基本方針	政策	番号	指標	策定時 (H28)	目標値 (R4)	実績値				目標値の設定根拠
						H30	R1	R2	R3	
「スポーツの豊かな生活」を創る！	のす生 動スベ のポてに 充1のわ 実ツ県た 活民る	1	成人(男・女)の週1回以上のスポーツ実施率	男性35.6% 女性36.8%	男女ともに 65%以上	39.7 40.0	45.6 42.4	50.1 47.4	55.2 48.6	国の第2期スポーツ基本計画で掲げる目標値(65%以上)を上回る
		2	子ども(男・女)の1週間の運動・スポーツ実施時間(※土日を含み、平日の授業を除く)【小学5年生】	男子:590.7分 女子:347.2分	男子:625分 女子:382分	586.6 341.7	558.8 330.2	-	527.5 313.4	男女とも1日あたり5分間(1週間で35分)増
		3	障害者の週1回以上のスポーツ実施率	38.1% (H29)	65%以上	-	-	28.9	-	国の第2期スポーツ基本計画で掲げる目標値(65%以上)を上回る
	多ス 様ポ な1 有価 ツ値 の持 共つ	4	しがスポーツ大使の就任数	26者	50者以上	34	38	40	48	年間3名以上、オリンピックイヤーは5名以上の就任
		5	アスリートを採用した県内企業数	32社	45社以上	32	39	44	46	滋賀県企業スポーツ振興協議会の会員企業を中心にアスリートを採用する新規企業を毎年3社以上増
		6	スポーツボランティア登録者数(本県ボランティア登録システム利用)	334人	2,000人以上	1,789	3,379	3,629	3,823	県総合戦略実施計画で掲げる目標登録者数
「元気な地域」を創る！	境施ス の設ポ 充・1 実環ツ	7	総合型地域スポーツクラブで指導する有資格スポーツ指導者数	267人	370人以上	229	280	283		県内の55クラブから各2名以上の指導者増
		8	県内のスポーツ施設(社会体育施設)の利用者数	6,617,409人 (H26)	730万人以上	583 万人	570 万人	348 万人		社会教育調査(文科省調査)のH26調査時における利用者数の10%増
	よたス る連ポ 地携1 化域・ツ の協を 活働通 性にじ	9	民間団体等の実施するスポーツイベントへの県の後援件数	155件	200件以上	144	128	54	96	毎年10件程度の新規後援件数増
		10	スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数	1,002万人	1,200万人以上	1,091 万人	1,105 万人	795 万人		過去5年間(H23→H27)の伸び率を参考に設定(12.5%)
		11	滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	60,844人 (H29)	10万人以上	95,753	73,262	35,211	42,174	滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等の観客実績を参考に設定
「スポーツの滋賀」を創る！	向等国 上に体 と向・全 大競け 技たス 者競ポ の技大 拡力会	12	国体総合順位	39位 (H29)	8位以内	31	30	-	-	競技力向上基本計画に掲げる目標順位
		13	県障害者スポーツ大会の参加者数	773人 (H29)	1,000人以上	757	708	150		競技力向上推進計画を参考に設定
	レ活地 ガか域 シ1の した特 の大き 創性を	出	14	オリンピック・パラリンピックのホストタウンを通じて海外との交流を始めた市町数	3市	6市町以上 (H32)	5	5	5	5
			スポーツボランティア登録者数(再掲)	334人	2,000人以上	1,789	3,379	3,629	3,823	県総合戦略実施計画で掲げる目標登録者数
			成人(男・女)の週1回以上のスポーツ実施率(再掲)	男性35.6% 女性36.8%	男女ともに 65%以上	39.7 40.0	45.6 42.4	50.1 47.4	55.2 48.6	国の第2期スポーツ基本計画で掲げる目標値(65%以上)を上回る



## 資料7

## 第3期滋賀県スポーツ推進計画における指標について（たたき台）

■ 新たな指標候補
 ■ 従来の指標の改善

基本方針	施策	指標	現状値 (R3)	目標値 (R9)	備考	
Ⅰ 「豊かで健やかな生活」をつくる	生涯にわたるスポーツ活動の充実	成人（男・女）の週1回以上のスポーツ実施率	男55.2% 女48.6%	男女とも70%以上	国の目標を上回る	
		しがスポーツ大使による交流事業件数	13件			
		スポーツボランティア参加者数（延べ人数）	1,867人		しがスポーツボランティア協議会登録者	
		総合型地域スポーツクラブで指導する有資格スポーツ指導者数	283人(R2)			
		公認スポーツ指導者数	3,399人			
		県内のスポーツ施設（社会体育施設）の利用者数	3,483,340人(R2)			
	子どもの運動・スポーツ活動の充実	子ども（男・女）の1週間の運動・スポーツ実施時間（※土日を含み、平日の授業を除く）【小学5年生】	男子527.5分 女子313.4分			
		子ども（男・女）の1週間の総運動時間420分以上の割合（※土日を含み、平日の授業を除く）【小学5年生】	男子48.2% 女子26.3%			
		1週間の総運動時間（体育授業を除く）が60分未満の児童の割合	男子9.3% 女子16.6%	半減	国と同様	
		「運動やスポーツが好き」と回答した児童生徒の割合【小学5年生】	男子67.2% 女子50.1%		滋賀の教育大綱（第3期滋賀県教育振興基本計画）	
	障害者のスポーツ活動の充実	障害者の週1回以上のスポーツ実施率	28.9%	40%以上	国の目標を上回る	
		障害者スポーツ教室等の参加人数				
		障害者スポーツ指導者数	345人			
Ⅱ 地域活躍の力をのこす	スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化	スポーツが地域の活性化に役立つと感じる県民の割合			（福岡県計画で同様の指標設定）	
	滋賀の地域資源を生かしたスポーツの推進	スポーツ・レクリエーションを目的とする観光入込客数	795万人(R2)			
		滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	42,174人			
Ⅲ 感動を未来へつなぐ	国スポ・障スポ大会等に向けた競技力向上と競技水準の定着	国スポ総合順位	30位(R1)	開催年 優勝 開催後 15位以内	競技力向上基本計画	
		県障害者スポーツ大会の参加者数	150人(R2)		競技力向上推進計画	
	地域の特性を生かした大会レガシーの創出と未来への継承	スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合			（三重県計画で同様の指標設定）	
		スポーツボランティア参加者数（延べ人数）（再掲）	1,867人			
		成人（男・女）の週1回以上のスポーツ実施率（再掲）	男55.2% 女48.6%	男女とも70%以上	国の目標を上回る	